



## 《無料で受けられる特定健診・がん検診について》

◆次の年齢の人は、市が行う特定健診・がん検診が無料で受けられます。

【すべての健（検）診（胸部CT検診除く）】… 令和9年3月31日時点の年齢が70歳以上の人

※胸部CT検診は有料となります。

【特定健診】…………… 令和9年3月31日時点の年齢が40歳・50歳・60歳の人

【子宮頸がん検診】…………… 21歳（平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれ）の女性

【乳がん検診】…………… 41歳（昭和60年4月2日～昭和61年4月1日生まれ）の女性

※特定健診、子宮頸がん検診、乳がん検診無料対象者には無料クーポン券が届きます。

無料クーポン券の使い方などについては、送付する案内で確認してください。

【胃がん検診】…………… 令和9年3月31日時点の年齢が40歳の人

※胃がん検診無料対象者は健診会場の受付での年齢確認で無料となります（無料クーポン券はありません）。

### 【注意事項】

- ・無料クーポン券は、市が行っている健（検）診以外では使用できません。
- ・無料クーポン券を紛失された場合でも、対象の年齢であれば無料となります。



## 《健（検）診料金の減免について》

◆市民税非課税世帯の人は申請により料金が減免（無料）となります。

（同一世帯と認められた全ての世帯員が、当該年度において、市民税が課税されていない世帯）

### 【手続き方法】

必ず健（検）診日の2週間前までに減免の申請を行ってください。申請書は、健康づくり推進課、国保年金課、南・北出張所・各総合事務所にあります。審査後に通知書をお送りしますので、健（検）診当日に必ず免除決定通知書をお持ちになり受付で提示してください。

### 【注意事項】

- ・令和9年3月31日時点の年齢が70歳以上の方は、胸部CT検診のみ、減免の手続きが必要です。
- ・生活保護世帯の人は、健診会場の受付で被保護者証明書を提示することで無料になります。
- ・上越医師会館及び妙高健診室で上越医師会が独自に実施する骨粗しょう症検診（骨密度測定検査）は減免（無料）となりません。



## 《がん検診のメリット・デメリット》

がん検診を受けることは、がんを無症状のうちに早期発見・早期治療し、がんで亡くなることを防ぐことにつながります。ただし、がん検診には利益（メリット）だけでなく、さまざまな不利益（デメリット）もありますので、正しく理解し、正しい知識を持って受診しましょう。

利益（メリット）	不利益（デメリット）																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの早期発見・早期治療による死亡率減少効果</li> <li>・がん検診で「異常なし」と判定された場合、安心を得られること</li> </ul> <p><b>早期発見は進行後発見よりも、こんなに生存率が高い！</b></p> <table border="1"> <caption>5年生存率比較表</caption> <thead> <tr> <th>がん種別</th> <th>早期発見 (I)</th> <th>進行後発見 (IV)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん</td> <td>82.0%</td> <td>5.8%</td> </tr> <tr> <td>肺がん (非小細胞肺)</td> <td>74.6%</td> <td>8.4%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>83.1%</td> <td>17.0%</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>95.2%</td> <td>38.6%</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん</td> <td>93.3%</td> <td>25.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>(出典：がんの統計2025 がん診療拠点病院等(都道府県推薦病院等)における5年実測生存率(2014-2015年診断例))</small></p>	がん種別	早期発見 (I)	進行後発見 (IV)	胃がん	82.0%	5.8%	肺がん (非小細胞肺)	74.6%	8.4%	大腸がん	83.1%	17.0%	乳がん	95.2%	38.6%	子宮頸がん	93.3%	25.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん検診でがんが100%見つかるわけではないこと</li> <li>・結果的に不必要な治療や検査を招く可能性があること</li> <li>・生命予後に影響しない、微小で進行の遅いがんを見つけてしまうこと</li> <li>・胸部エックス線検査・胃部エックス線検査・マンモグラフィ検査に伴う放射線被ばく</li> <li>・検査に伴う偶発症が起こりうること（胃部エックス線検査における誤嚥や腸閉塞等）</li> </ul>
がん種別	早期発見 (I)	進行後発見 (IV)																	
胃がん	82.0%	5.8%																	
肺がん (非小細胞肺)	74.6%	8.4%																	
大腸がん	83.1%	17.0%																	
乳がん	95.2%	38.6%																	
子宮頸がん	93.3%	25.1%																	

がん検診で「要精密検査」となった場合は必ず精密検査を受けてください。⇒8ページ